

2-3. 「交通錯綜軽減」に関する取組み

2-3-1. 「交通錯綜軽減」に関する課題と取組みの方向性

「交通錯綜軽減」に関し、都市センターゾーン整備後のゴールデンウィーク等大型連休を中心とした混雑期における「交通の錯綜軽減」を実現するため、「広域アクセス路への誘導」や「円滑な駐車場運用」等に向けた取組みを進めていきます。

現状と課題の整理

- ◆都市センターゾーン整備後も混雑が懸念されるゴールデンウィーク等の大型連休を中心に、交通の錯綜を軽減する必要があります。
 - ◇ゴールデンウィーク等の大型連休を中心に、アクアマリンパークへの来訪交通により、鹿島街道や各施設駐車場等で渋滞や混雑が発生
 - ◇アクアマリンパーク及びイオンモールの各駐車場は、一体的な駐車場利用を可能とする予定
 - ◇新小名浜魚市場の業務交通と観光交通が錯綜し、業務・観光交通の円滑な移動や歩行者の安全性が損なわれることが懸念

方向性

- ◆大型連休を中心に、鹿島街道等の周辺幹線道路の混雑緩和を図ります。
- ◆大型連休を中心に、アクアマリンパーク及びイオンモールの各施設が連携し、駐車場の円滑な利用を進めます。
- ◆新小名浜魚市場といわき・ら・ら・ミュウ間で連携し、施設間の交通錯綜を軽減します。

今後の取組み内容

- ①立て看板等による路側での案内誘導や交通案内マップを活用し、
広域アクセス路への誘導による街なかの混雑緩和を図ります。
 - ◆当面は、「交通案内マップ」を様々な主体（民間・行政等）が共有・情報発信し、観光目的の来訪者を中心とした案内誘導を促進します。
 - ◆大型連休にアクアマリンパーク 3 者及びイオンモール等の主要施設が主体となり、鹿島街道等の混雑緩和に向けた路側での案内誘導の実現を目指します。
 - ◆さらに、イオンモール開業後の交通実態を確認しつつ、交通誘導方策の見直し、大型連休以外での必要に応じた方策の展開を図ります。
- ②主要施設間の連携により、駐車場の円滑な運用を図ります。
 - ◆当面は、「駐車場案内マップ」を様々な主体（民間・行政等）が共有・情報発信し、アクアマリンパーク及びイオンモール各駐車場が一体的に利用できることを周知します。
 - ◆大型連休にアクアマリンパーク 3 者が各駐車場の満・空情報の把握・共有を図り、当該情報を活用し、円滑な駐車場利用の実現に向けた連携・案内誘導の実現を目指します。
 - ◆さらに、イオンモール開業後の交通実態を確認しつつ、満・空情報の把握・共有・案内誘導方策の見直しや駐車場情報の発信、大型連休以外での必要に応じた方策の展開を図ります。
- ③港湾交通（業務）と来訪者交通（観光・買い物）との交通錯綜を軽減します。
 - ◆当面は、2 者での情報交換を継続しつつ、小名浜魚市場本格稼働後は、交通実態を確認しつつ、交通錯綜軽減方策（案）を活用し必要な施策を実施します。
- ④イオンモール開業後の交通実態を踏まえ、
交通錯綜軽減に向けたソフト施策（案）を検討します。
 - ◆イオンモール開業後の交通実態を確認しつつ、「自動車利用削減方策（公共交通の利用促進、地域主体の新たなバス運行等）」や「地区内移動支援方策（レンタサイクル、ショッピングカートの共同利用等）」について、具体的な実施主体が明確になったものから検討を行います。

2-3-2. 「交通錯綜軽減」に関する取組み

(1) 広域アクセス路への誘導に資する情報内容や提供手段(案)

ゴールデンウィーク等の大型連休を中心とした混雑期について、鹿島街道等幹線道路の混雑緩和に向け、平や湯本方面からの交通は（主）小名浜小野線を使用して神白方面に、勿来や泉町方面からの交通は臨港道路を使用して第六号埠頭方面に誘導していくことを目指します。

当面は、「交通案内マップ」を様々な主体（民間・行政等）が共有し、各主体のホームページへの掲載や施設での掲出・配布等により情報発信し、観光目的の来訪者を中心とした案内誘導を促進します。なおマップは、趣旨（アクセス経路の明示）を変更しない範囲で、各主体による改良を可能とします。

また、大型連休を中心とした混雑期に、アクアマリンパーク3者及びイオンモール等の主要施設が主体となり、鹿島街道等の混雑緩和に向けた路側での案内誘導の実現を目指します。

さらに、イオンモール開業後の交通実態を確認しつつ、交通誘導方策を見直すとともに、大型連休以外でも必要に応じた方策の展開を図ります。

《路側での案内誘導方法(案)》

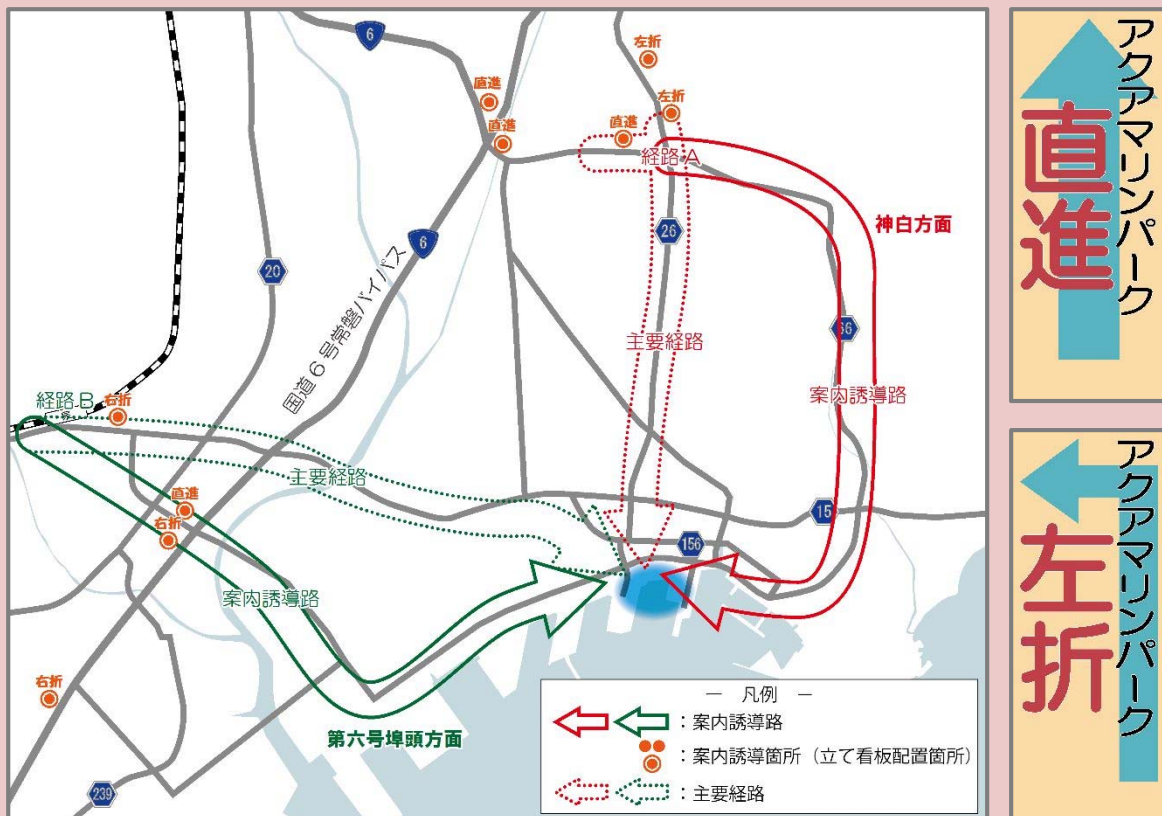
【実施主体】

- ◆アクアマリンパーク3者
- ◆イオンモール

【案内誘導ツール】

- ◆立て看板（有人を含む）

【案内誘導箇所(立て看板配置箇所)及び立て看板デザイン例】



アクアマリンパーク 交通案内マップ



▲ アクアマリンパーク交通案内マップ

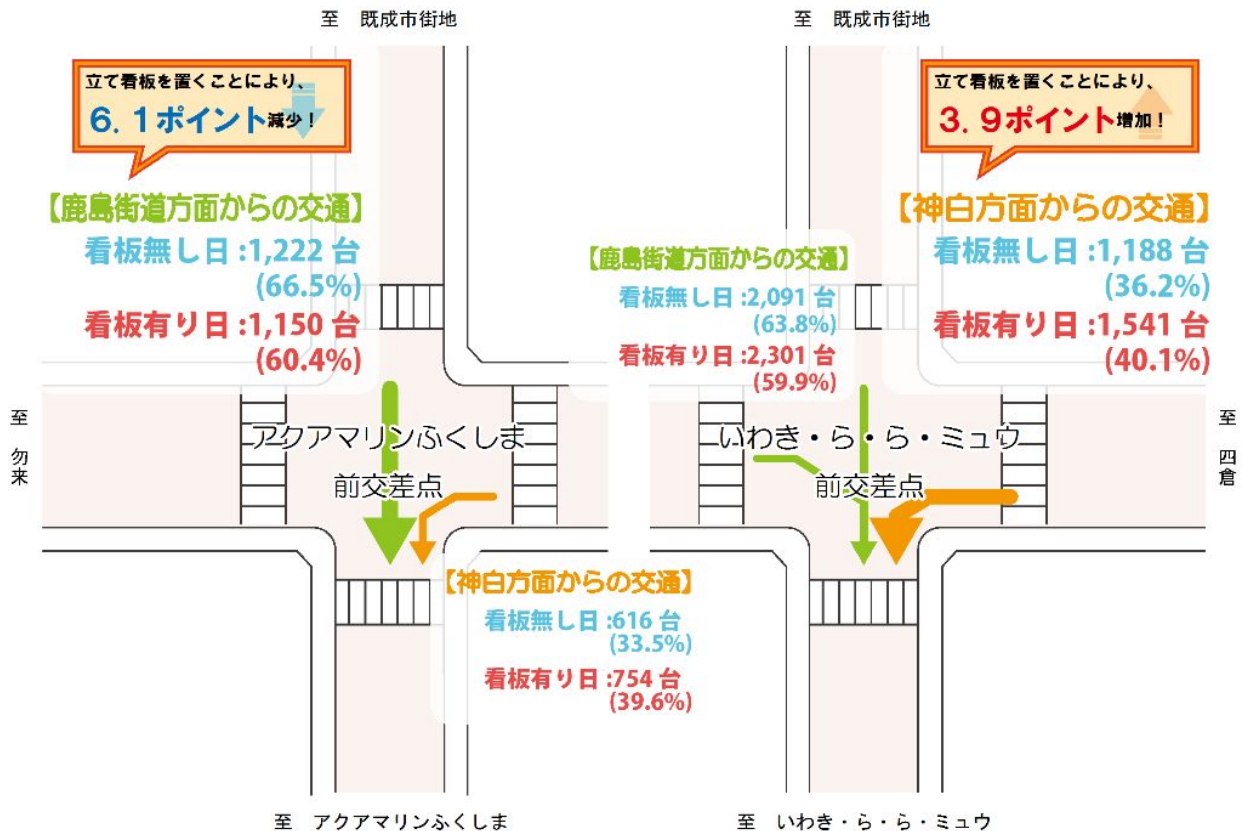
Topic: 立て看板の設置による、迂回路への案内誘導に係る実証実験結果

【実験の目的】 迂回路（神白方面）への案内誘導を立て看板により実施し、その効果を確認する。

【実験実施日】 立て看板なし：8月14日（金）、立て看板あり：8月15日（土）

【実験方法】 アクアマリンパーク前の交差点で交通量調査（7時～19時）を行い、両日の交通量を比較して誘導効果を確認する。

【実験結果】 立て看板の有り・無しによる交通量の比較を行った結果、案内誘導による一定程度の効果を確認しました。



▲ 実証実験の結果



◆ 立て看板の設置により、神白方面への誘導を促進！



【平方面からの交通】

【湯本方面からの交通】

▲ 立て看板配置位置及び配置状況

(2) 駐車場の満・空情報の把握・共有方法と連携方策(案)

ゴールデンウィーク等の大型連休を中心とした混雑期について、駐車場待ち等の混雑緩和に向け、アクアマリンパーク及びイオンモールの各駐車場が連携し、一体的で円滑な駐車場利用の実現を目指します。

当面は、「駐車場案内マップ（海遊マップ）」を様々な主体（民間・行政等が共有し、各主体のホームページへの掲載や施設での掲出・配布等により情報発信し、観光目的の来訪者を中心とした、「一体的な駐車場利用が可能であること」の周知を図ります。なおマップは、趣旨（駐車場情報）を変更しない範囲で、各主体による改良を可能とします。

また、大型連休を中心とした混雑期に、アクアマリンパーク3者が各駐車場の満・空情報の把握・共有を図り、当該情報を活用し、イオンモールを含めた円滑な駐車場利用の実現に向けた連携・案内誘導の実現を目指します。

さらに、イオンモール開業後の交通実態を確認しつつ、各駐車場の満・空情報の把握・共有・案内誘導方策の見直しや駐車場情報の発信等を進めるとともに、必要に応じ、大型連休以外でも必要に応じた施策の展開を図ります。

《駐車場の満・空情報の把握・共有方法と連携方策(案)》

【実施主体】

- ◆アクアマリンパーク3者：アクアマリンパーク各駐車場の満・空情報の把握・共有
：各駐車場の満・空情報を活用した誘導員等による案内誘導
- ◆イオンモール：各駐車場の満・空情報を活用した誘導員等による案内誘導

【アクアマリンパーク各駐車場の満・空情報の把握方法】

- ◆係員が場内を巡回し、目視により各駐車場の満・空情報を把握・整理
(満・空情報の把握レベル及び各駐車場の情報更新頻度)

	状況	概要
満・空情報の把握 レベル	空き有り	駐車場に概ね8割以上の空きがある状況
	混雑	駐車場に概ね1~2割程度の空きがある状況
	満車	駐車場に概ね空きが無い状況
情報更新頻度	1人体制	概ね30分に1回の情報更新が可能
	2人体制	概ね15分に1回の情報更新が可能
	3人体制	概ね10分に1回の情報更新が可能

【駐車場の満・空情報の共有方法】

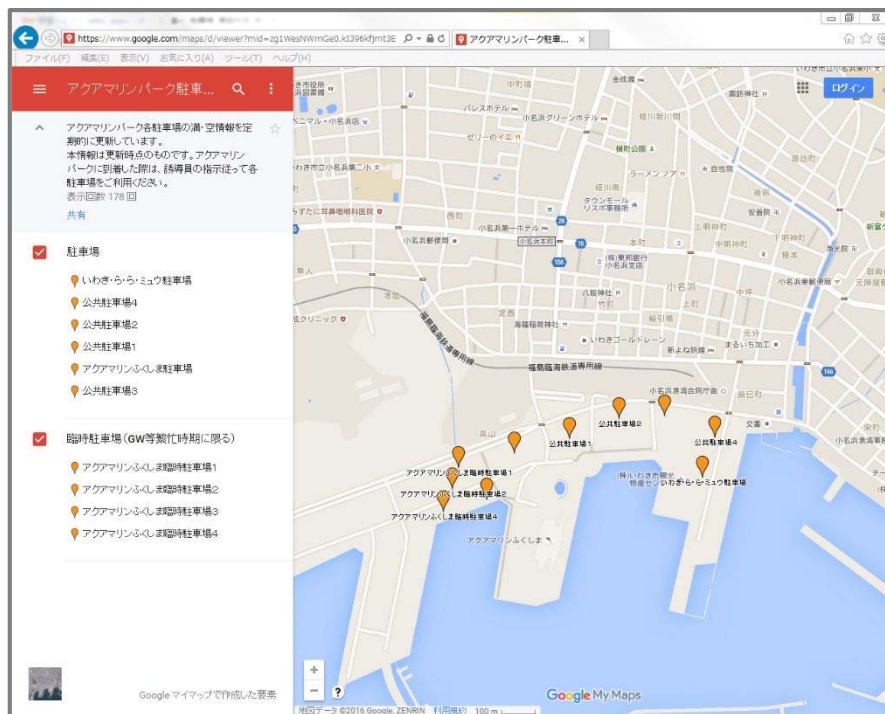
- ◆「Google マイマップ」サービスを利用し、係員が場内を巡回しつつ、係員自らがタブレット端末等により、把握した情報を整理・更新

【連携方策】

- ◆各駐車場の満・空情報を活用した、誘導員による案内誘導の共通ルール（満車の際は直近の空き駐車場に案内誘導、他駐車場が「混雑」の場合は案内誘導を行わない等）を定め、各施設管理者間で共有・運用

Topic:「Google マイマップ」サービスとは？

- ◆マイマップとは、Google 社のグーグルマップをベースとして、自らがカスタマイズしたマップをオンライン上で共有し、一般公開も可能な無料コンテンツ
(マイマップ : <https://www.google.co.jp/maps/d/splash?app=mp>)
- ◆グーグルマップ上に、「ポイント」「線・面」や「文字情報」等を追加することで、店舗の位置や案内誘導ルート等の情報をオンライン上で視覚化することが可能
- ◆Google 社のアカウントを持つ者であれば、1つのマップを複数人で管理・編集することが可能
- ◆マイマップは、「①編集者間のみが閲覧」「②公開 URL を知る者のみが閲覧」「③ウェブ上で全ての人に公開」の3段階で情報共有・発信が可能
- ◆「無料」「編集が容易」「観光客等宛てに一般公開も可能」の点から、関係者間で各駐車所の満・空情報を共有するためのツールとしてだけでなく、駐車場位置や台数等の基礎情報や各駐車場満・空情報を一般に発信するツールとしての活用も可能



©Google

©Google

▲ 一般公開時の閲覧画面イメージ（左：PCでの閲覧、右：スマートフォンでの閲覧）

(4)イオンモール開業後の交通実態に合わせた交通錯綜軽減に向けたソフト施策(案)

イオンモール開業後の交通実態を確認しつつ、発生した新たな課題に対し、「自動車利用削減方策」や「地区内移動支援方策」等の対応方策について、具体的な実施主体が明確になったものから検討を行い、施策の展開を図ります。

なお、これらの施策の展開や「広域アクセス路への誘導」「駐車場の円滑な運用」の実践・継続するため、地区住民・事業者、交通事業者や行政で構成されるマネジメント組織等を設置し、地域の交通実態や課題の共有、必要施策の検討・調整・実践を行うことも考えられます。

《イオンモール開業後の交通実態に合わせた交通錯綜軽減に向けたソフト施策(案)》

①自動車利用の軽減に向けた公共交通活用促進

【目的】

- ◆来訪者の自動車利用を軽減し、鹿島街道等幹線道路の混雑緩和に向けた公共交通の利用促進を目指す。

【内容】

- ◆小名浜地区内で買い物をした場合に、バス乗車券の提供など、運賃補助サービス等を実施する。
- ◆バス利用の証明により、小名浜地区内での買い物に割引サービスを実施する。

【導入に向けた課題】

- ◆小名浜地区内事業者等の中で、目的の共有・協力体制の構築が必要。
- ◆バス事業者と小名浜地区内事業者等との役割分担（費用分担）が必要。

【参考事例】

- ◆お買い物バス券の配布：新潟県長岡市
⇒地域での買い物の際に、バス乗車券を配布
- ◆エコショッピング事業：兵庫県神戸市
⇒公共交通利用者に対し、地域での飲食料金等の割引や景品のプレゼントを実施



▲ バス乗車券の提供イメージ

②地区内移動支援に資する新たな交通手段の導入による回遊支援

【目的】

- ◆来訪者の小名浜地区内での自動車利用を軽減するほか、既成市街地～都市センターゾーン～アクアマリンパーク間を中心とした回遊支援を図るため、必要な交通手段の導入を目指す。

【内容】

- ◆アクアマリンパーク内や汐風竹町通り、既成市街地の各商店等への回遊を支援するため、レンタサイクルやセグウェイ（公道以外）等を導入する。
- ◆来訪者の小名浜地区内における回遊支援を図り、地区住民の新たな交通手段としても活用が可能なコミュニティバス等の交通手段を導入する。

【導入に向けた課題】

- ◆レンタサイクルやセグウェイ等の管理・貸出・料金徴収等を行う実施主体が必要。
- ◆来訪者や地域住民を対象とした需要調査やバス事業者との役割分担（運行頻度、費用分担）が必要。

【参考事例】

- ◆セグウェイツアー：国営武蔵丘陵森林公園
⇒セグウェイにより、広大な園内を巡るツアーを実施
- ◆まちバス：香川県高松市
⇒商店街と交通事業者による、中心駅と商店街とのアクセス改善に資する市街地循環バスの導入



出典：国土交通省資料

▲ 「まちバス（香川県高松市）」の概要

③買い物品等の運搬補助による回遊支援

【目的】

- ◆来訪者の回遊性向上に向け、お土産等の購入商品、手荷物等を気にせず買い物や散歩等の回遊を支援する新たなサービスの導入を目指す。

【内容】

- ◆既成市街地各商店会・イオンモール・アクアマリンパークの各所で、ショッピングカートの共同利用を進める。
- ◆既成市街地各商店会・イオンモール・アクアマリンパークの各所で購入したお土産品等を取りまとめ、取扱店から自宅への共同配送サービスを展開する。

【導入に向けた課題】

- ◆小名浜地区内事業者等の中で、目的の共有・協力体制の構築が必要。
- ◆配送事業者と小名浜地区内事業者等の役割分担（集荷のルール、費用分担）が必要。

【参考事例】

- ◆ショッピングカートの共同利用：愛知県豊田市
⇒中心市街地の指定エリア内（屋外を含む）を対象に、各店舗共通で利用可能なショッピングカートを導入
- ◆共同配送：青森県八戸市
⇒中心商店街で買い物をした商品を対象とし、取扱店から自宅へまとめて配送するサービスを導入



出典：経済産業省資料

▲ ショッピングカートの共同利用（愛知県豊田市）



出典：経済産業省資料

▲ 共同配送（青森県八戸市）